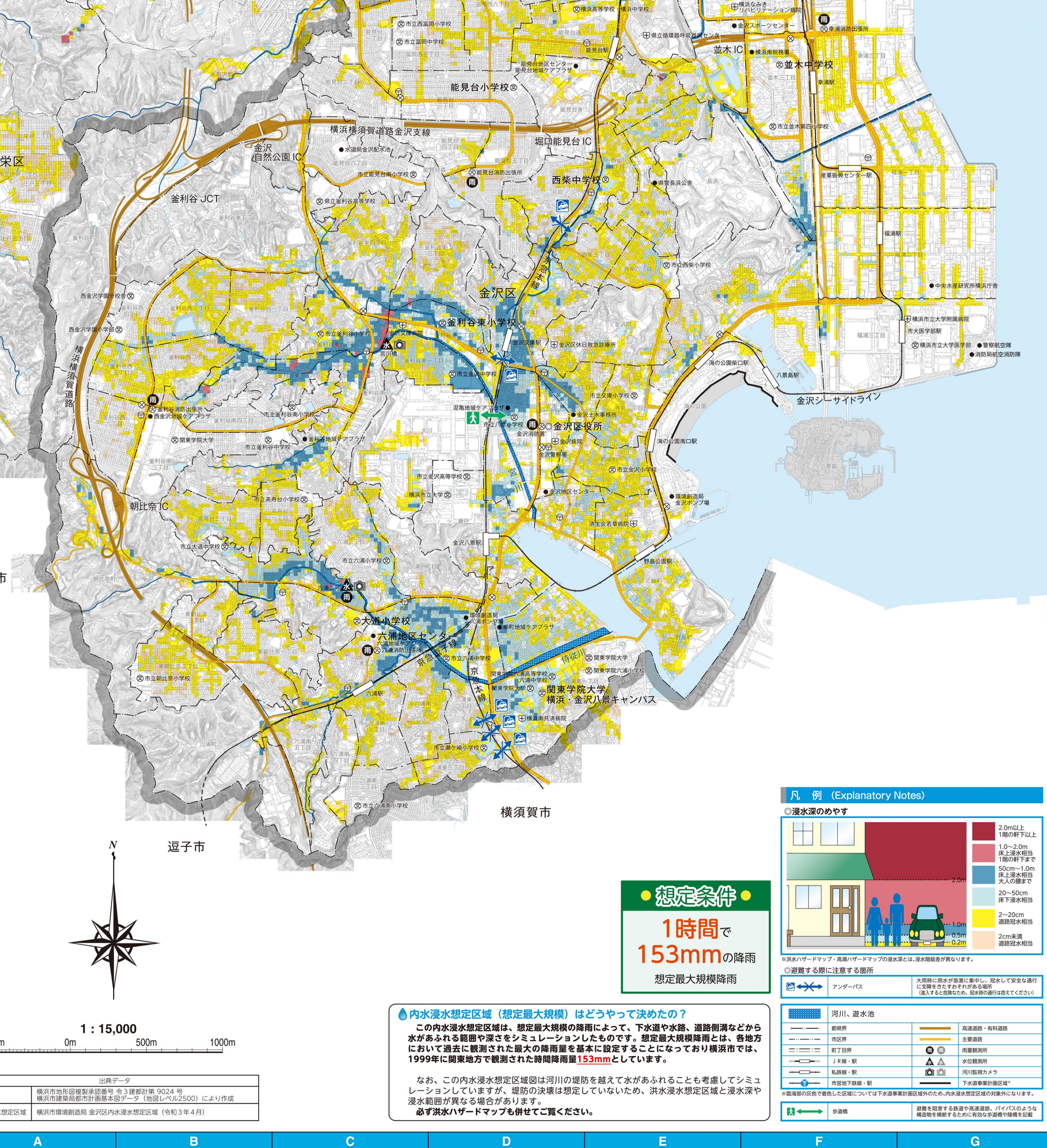


金沢区内水ハザードマップ 内水浸水想定区域(想定最大規模)

この内水ハザードマップは、下水道の能力を超える大雨に対して、浸水が想定される区域の皆さんに日頃からの備えや対策をとっていただくために作成したものです。
※河川周辺の浸水想定については、必ず洪水ハザードマップも併せてご覧ください。



※内水氾濫の浸水想定区域は、平成30年度末の河川下水道施設の整備状況および地盤の高さを反復して、横浜環境創造局が作成したものです。
雨の降り方によっては、浸水区域や浸水深がこの区域と異なることがあります。



1 : 15,000
0m 500m 1000m

資料	出典データ
河川	横浜市地形図製図部 9024号 横浜市建設局都市計画課(2500)により作成
内水浸水想定区域	横浜市環境創造局 金沢市内水浸水想定区域(令和3年4月)

凡例(Explanatory Notes)

◎浸水深のめやす

2.0m以上 1階の軒下以上	2.0m
1.0~2.0m 1階の軒下まで	1.0m
50cm~1.0m 1階上まで(大規模)	50cm
20~50cm 床下浸水相当	20cm
2~20cm 浸水相当	2cm
0~2cm 浸水相当	0cm

◎避難する際に注意する箇所

河川、遊水池	高低道路・有料道路
駅前	避難場所
市界	入居・退
町界	バス路線
入居・退	道路幅狭小
バス路線	下水道施設区域
市界	歩道橋
町界	

想定条件

1時間で153mmの降雨
想定最大規模降雨

◎内水浸水想定区域(想定最大規模)はどうやって決めたの？
この内水浸水想定区域は、想定最大規模の降雨によって、下水道や水路、道路側溝などから水があふれる範囲や深さをシミュレーションしたものです。想定最大規模降雨とは、各地方において過去に観測された最大の降雨量を基本に設定することによって横浜市では、1999年に関東地方で観測された時間降雨量153mmとしています。

なお、この内水浸水想定区域は河川の堤防を越えて水があふれることも考慮してシミュレーションしていますが、堤防の決壊は想定していないため、洪水浸水想定区域と浸水深が異なる場合があります。
必ず洪水ハザードマップも併せてご覧ください。

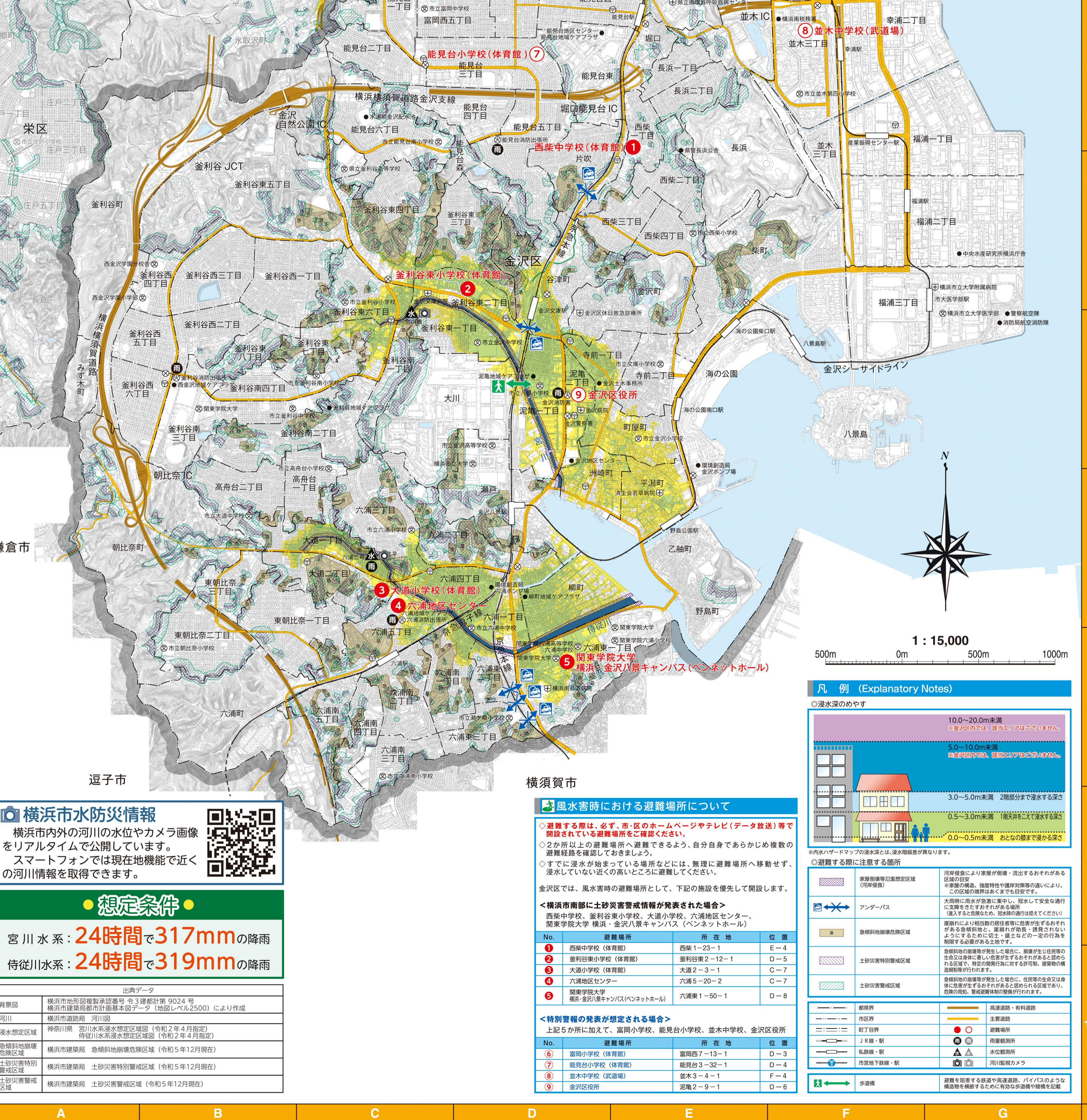
金沢区洪水ハザードマップ 洪水浸水想定区域(想定最大規模)

宮川水系河川: 宮川 侍従川水系河川: 侍従川
この洪水ハザードマップは、宮川水系・侍従川水系等の河川の氾濫が予想される場合や実際に氾濫した場合に、浸水が想定される区域の皆さんに速やかに避難していただくために作成したものです。
※想定最大規模とは「想定し得る最大規模の降雨」による氾濫を前提として予測したものです。



◎洪水浸水想定区域(想定最大規模)はどうやって決めたの？
この洪水浸水想定区域の範囲やその深さは、想定最大規模の降雨(24時間で宮川317ミリ、侍従川319ミリ)を前提として、川の水があふれた場合や堤防が壊れた場合をシミュレーションにより予測したものです。
【参考】横浜地方気象台では、平成26年10月5日に24時間で約307ミリの降雨を観測しています。
なお、この洪水浸水想定区域は、前提となる降雨を超えるような大雨、下水道等からの浸水、水路の氾濫等を考慮していません。したがって着色されていない区域でも浸水が発生する場合があります。実際の浸水深と異なる場合があります。

※1 神奈川県ホームページ (https://www.pref.kanagawa.jp/docs/f4u/cen/f3747/p1039490.html)
※2 横浜地方気象台ホームページ (https://www.jma-net.go.jp/yokohama/)



横浜市水防情報

横浜市内外の河川の水位やカメラ画像をリアルタイムで公開しています。
スマートフォンでは現在地機能で近くの河川情報を取得できます。

想定条件

宮川水系: 24時間で317mmの降雨
侍従川水系: 24時間で319mmの降雨

避難所	名称	所在地	位置	
1	西原中学校(体育館)	西原1-23-1	E-4	
2	金沢小学校(体育館)	金沢2-12-1	D-5	
3	大浦小学校(体育館)	大浦2-3-1	C-7	
4	六浦地区センター	六浦5-20-2	C-7	
5	関学院大学	関学院キャンパス(ペンネットホール)	六浦東1-50-1	D-8

資料	出典データ
河川	横浜市地形図製図部 9024号 横浜市建設局都市計画課(2500)により作成
洪水浸水想定区域	神奈川県 宮川水系洪水浸水想定区域(令和2年4月制定) 侍従川水系洪水浸水想定区域(令和2年4月制定)
避難場所	横浜市建設局 金沢地区避難所(令和5年12月現在)
土砂災害特別警戒区域	横浜市建設局 土砂災害特別警戒区域(令和5年12月現在)
土砂災害警戒区域	横浜市建設局 土砂災害警戒区域(令和5年12月現在)

風水害時における避難場所について

◎避難する際は、必ず、市・区のホームページやテレビ(データ放送)等で開設されている避難場所をご確認ください。
◎2か所以上の避難場所へ避難できるように、自分自身であらかじめ複数の避難経路を確認しておくことが大切です。
◎すでに浸水が始まっている場所などには、無理に避難場所へ移動せず、浸水していない近くの高いところに避難してください。
金沢区では、風水害時の避難場所として、下記の施設を優先して開設します。

＜横浜市南部に土砂災害警戒情報が発表された場合＞
関学院大学、金沢谷東小学校、大浦小学校、六浦地区センター、関学院大学 横浜・金沢八景キャンパス(ペンネットホール)

※特別警戒の発表が想定される場合
上記5か所に追加して、高見台小学校、能見台小学校、並木中学校、金沢区役所

避難所	名称	所在地	位置
6	高見台小学校(体育館)	高見台7-13-1	D-3
7	能見台小学校(体育館)	能見台3-32-1	D-4
8	並木中学校(武道場)	並木3-4-1	F-4
9	金沢区役所	金沢2-9-1	D-6

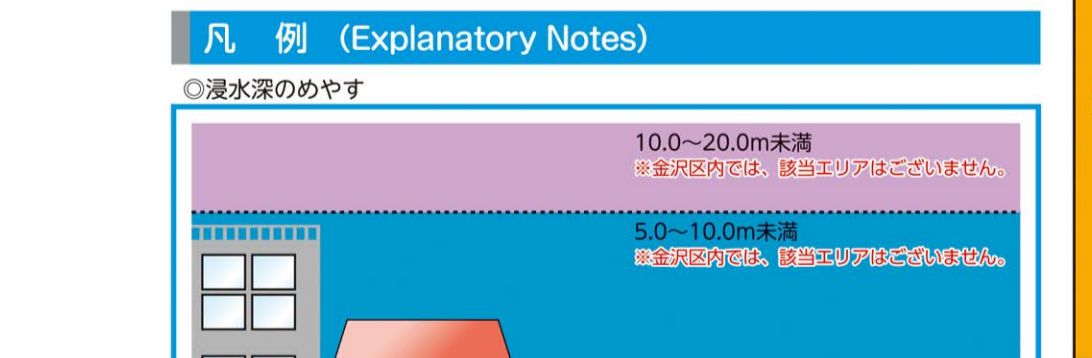
凡例(Explanatory Notes)

◎浸水深のめやす

10.0~20.0cm未満	10.0cm
5.0~10.0cm未満	5.0cm
3.0~5.0cm未満	3.0cm
0.5~3.0cm未満	0.5cm
0.0~0.5cm未満	0.0cm

◎避難する際に注意する箇所

河川、遊水池	高低道路・有料道路
駅前	避難場所
市界	入居・退
町界	バス路線
入居・退	道路幅狭小
バス路線	下水道施設区域
市界	歩道橋
町界	



1 : 15,000
0m 500m 1000m

資料	出典データ
河川	横浜市地形図製図部 9024号 横浜市建設局都市計画課(2500)により作成
洪水浸水想定区域	神奈川県 宮川水系洪水浸水想定区域(令和2年4月制定) 侍従川水系洪水浸水想定区域(令和2年4月制定)
避難場所	横浜市建設局 金沢地区避難所(令和5年12月現在)
土砂災害特別警戒区域	横浜市建設局 土砂災害特別警戒区域(令和5年12月現在)
土砂災害警戒区域	横浜市建設局 土砂災害警戒区域(令和5年12月現在)